

くらし 安全通信

ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f707/>

ツイッター

https://twitter.com/kurashi_anzen



目次

- ★ 年末年始安全・安心キャンペーン
- ★ 昨年の身近な犯罪と交通事故死者数
- ★ 振り込め詐欺に、引き続きご注意ください!
- ★ 犯罪被害者等支援キャンペーンなど
- ★ 平塚市防犯協会女性部連絡会
- ★ 地域連携モデル事業

神奈川県 安全防災局安全防災部 くらし安全交通課

☎ 045-210-1111(内線3556) FAX 045-210-8953



年末年始安全・安心キャンペーン

平成27年12月18日(金) 新都市プラザ



フェリス女学院大学の学生ボランティアが司会進行をしました。



自主防犯活動団体の皆さんにご協力をいただき、チラシなどで事件や事故に気をつけるよう呼びかけました。



ガールスカウト神奈川県第6団の皆さんがダンスなどを披露しました。そのあと、メンバー5人が「自分の身を守るよう考えて行動します」と力強く年末年始安全・安心宣言を行いました。



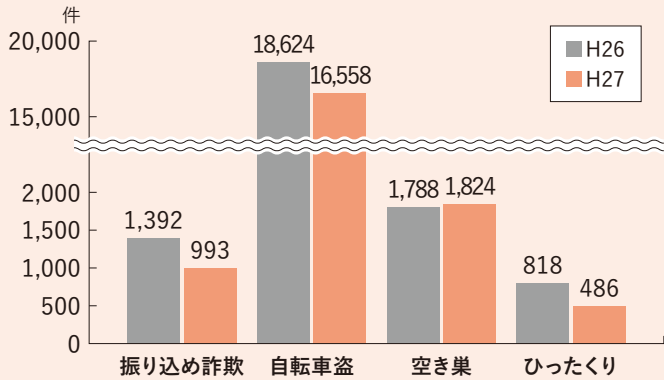
Jas-TI's(ジャスティス)(作曲家の矢口一朗さんと歌手のPEKOさんの音楽ユニット)が振り込め詐欺撃退ソングライブを行い、「正義のアロハ」「オレじゃない」「最強防犯タッグ センジャーズ」などを披露しました。



県知事、県警察本部長とともに年末年始特別警戒実施中の戸部警察署一日警察署長の平井理央さん(元フジテレビアナウンサー)が立ち寄り、子どもを犯罪から守る4つのおやくそくを紹介しました。また、みんなで協力して、お年寄りを振り込め詐欺から守り、年末年始を安全に過ごしましょうと呼びかけました。

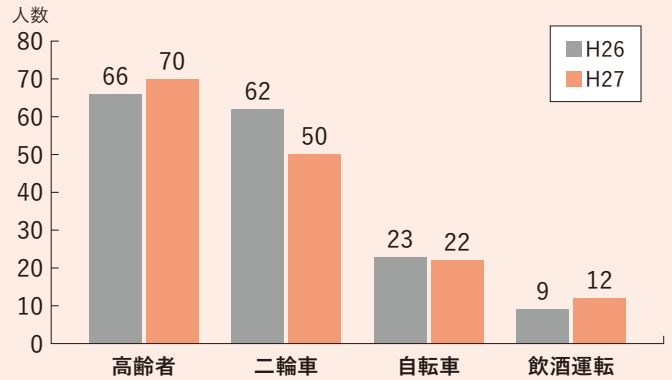
昨年（平成27年）の身近な犯罪と交通事故死者数

H26/H27（暫定値）身近な犯罪発生件数（認知件数）



犯罪発生件数は減少していますが、空き巣などの侵入窃盗が増加しています。
振り込め詐欺の被害額が、約32億8,000万円にのぼっていますので、引き続き、ご注意ください。

H26/H27 交通事故による死者数



交通事故死者数は178人で、過去3番目に少ない人数です。交通事故発生件数と負傷者数は15年連続で減少しています。死者数の内訳では、高齢者と飲酒運転による死者数が増加しています。

最近の手口

複数人で様々な役を演出！

息子や孫を装う電話



もう一度電話



警察や駅員を装う電話



代わりの者が取りに来る



振り込め詐欺に、引き続き、ご注意ください！

突然の電話に「大変だ！何とかしなきゃ、助けなきゃ！」と慌てないで！
お金を要求する電話はまず詐欺を疑いましょう！

4月6日（水）～15日（金）の10日間

春の全国交通安全運動

安全は 心と時間の ゆとりから

新入学児童・園児を交通事故から守ろう！

子どもは、急な飛び出しなど、思いがけない行動をとることがあります。新入学児童や園児が街を歩き始めるこの時期は、小さいお子さんを見かけたら、スピードを落とすなど、細心の注意と思いやりのある運転を心がけましょう。



神奈川の交通安全

神奈川県交通安全シンボルマーク

正しいルールで交通安全 笑顔はマナーとやさしさから



4月10日（日）は「交通事故死ゼロを目指す日」です
春の全国交通安全運動

平成28年4月6日（水）～15日（金）

犯罪被害者等支援キャンペーン

11月25日(水) 新都市プラザほか

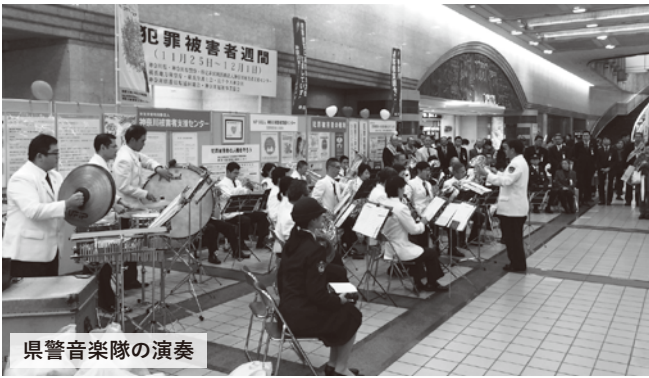
県、県警察、NPO法人神奈川被害者支援センターの主催で、犯罪被害者週間を中心に、県内5か所でキャンペーンを行いました。

チラシやグッズの配布、ポスター・パネルの展示などを行い、犯罪被害に遭われた方及びその家族の方々の置かれている状況や配慮の重要性などを、広く県民の皆さんに呼びかけました。

今後も、被害者等を温かく支える地域社会づくりを進めてまいります。

犯罪被害者週間(11月25日から12月1日)とは

期間中、集中的な啓発活動などの実施を通じて、犯罪被害者等が置かれている状況や犯罪被害者等の名誉又は生活の平穏への配慮の重要性などについて、国民の理解を深めることを目的に定められました。



県警音楽隊の演奏



チラシやグッズの配布

平成27年交通安全功労者表彰式 11月19日(木) 県立音楽堂

神奈川県、神奈川県公安委員会、神奈川県警察本部、公益財団法人神奈川県交通安全協会、一般社団法人神奈川県安全運転管理者会連合会が合同で表彰式を行いました。

多年にわたり地域や職場で交通安全と交通事故防止にご尽力いただいた1,576人と237団体の方々が表彰されました。

県知事表彰	39人 19団体
県公安委員会表彰	10人 7団体
県警察本部長表彰	230人 25団体
県警察本部長表彰・(公財)県交通安全協会会長表彰(連名)	424人
(公財)県交通安全協会会長表彰	596人 30団体
県警察本部長表彰・(一財)県安全運転管理者会連合会会長表彰(連名)	99人 72団体
(一財)県安全運転管理者会連合会会長表彰	178人 84団体



2015飲酒運転を根絶しよう!!県民大会 11月5日(木) グランツリー武蔵小杉

毎年12月は、飲酒運転根絶強化月間です。

12月の飲酒運転根絶強化月間に先立ち、日吉自動車学校の現役指導員の劇団「ルール」の演劇などにより、飲酒運転とこれを助長する行為(運転者に酒類を提供するなど)の根絶を、県民の皆さんに呼びかけました。みんなで飲酒運転の根絶に取り組みましょう。「乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者」



劇団「ルール」の演劇





■女性の優しい目線で犯罪抑止

私たちの団体は、女性の視点に立った活動を円滑に行うため、昭和53年に防犯協会の部会として発足し、現在272名で構成されています。

これからも、夜間パトロールや子どもの見守りなど地域での活動を積極的に行っていきたいと思えます。

■女性部護身術講習会

安全・安心まちづくり旬間(毎年10月11日から20日)期間中に、平塚警察署の道場で「女性のための護身術講習会」

を毎年実施しています。今年で27回目の開催となり、約60名が参加しました。

警察官の方を講師に、不審者に襲われた際の対策動作を2人1組で練習します。例えば、不審者が後ろから来たときは利きひじで突き、自分のかかとで相手の靴を思いっきり踏む、前から来たときは突き倒すなど、大きな声を出しながら参加者全員で練習します。警察官から事例を交えながら受ける講習は、女性がいざというときに役立つ、とても実践的な内容です。

■安全・安心グリーンリボンキャンペーンに参加

11月26日、平塚市紅谷町の紅谷町まちかど広場で、「女性の優しい目線で地域を守る」をモットーにしている神奈川県女性防犯連絡協議会と県警により開催されました。当日は、湘南桜ヶ丘幼稚園児の鼓笛演奏やお笑い防犯軍団「ツナコメ」の振り込め詐欺の防犯漫才などがありました。私たちも、他の地域の女性防犯団体と連携して、犯罪防止街頭キャンペーンを行い、チラシや防犯グッズなどを配布しながら、道行く人たちに防犯を呼びかけました。



連絡先 平塚市防犯協会女性部連絡会会長 馬鳥 0463-21-1282

第3回セーフティかながわ
ユースカレッジ研修会

12月23日(水) 横浜市開港記念会館

法政大学文学部心理学科 越智啓太教授による「なぜ人はダメされるのか～犯罪心理学を応用した犯罪予防のコツ～」の講演と、ユースカレッジ学生・生徒企画会議委員の進行のもと、参加者による「意見交換会」を行いました。



セーフティかながわユースカレッジとは

「安全・安心まちづくりに若い力を！」を合言葉に、神奈川県内で防犯ボランティア活動を展開(これから展開しようとする)高校生・大学生たちが集まる研修会です。お問い合わせ先:045-210-3520

地域で連携した安全・安心まちづくりに取り組んでいます！

～ 地域連携モデル事業の取組み ～

県では、今年度から、他の地域のモデルとなる効果的な取組みを行っている地域を支援しています。

平成27年度の「モデル地区」3地域の活動を紹介します。

広域的な連携 住民主体のまちづくり

松浪地区まちぢから協議会（茅ヶ崎市）

- 茅ヶ崎市では、各自治会を中心に、地域内の各種団体や市民の皆さんが参加する「まちぢから協議会」を設置し、住民自治の取組みを進めています。
- 「松浪地区まちぢから協議会」は、この新たな地域コミュニティづくりに取り組んでいる地域の一つで、協議会の中に「市民安全部会」が設置され、防犯や交通安全をはじめ、市民の安全・安心の確保のための取組みを進めています。

【平成27年度の取組み】

- 県の「モデル事業」実施地域となったことにより、県の担当者とともに、より効果的な対策について検討を行いながら、課題解決に取り組んでいます。
- 振り込め詐欺防止の取組みでは、茅ヶ崎市役所、茅ヶ崎署と連携し、高齢者世帯への戸別訪問に取り組んだほか、協議会主催の防犯研修会を開催するなどしました。
- 自転車の盗難防止の取組みでは、県の補助金を活用し、協議会に参加するすべての自治会に自転車盗難防止を呼びかけるのぼり旗を購入し、注意喚起を強化しました。

【平成28年度の取組み】

- 来年度は、地域住民等からの要望を反映し、「振り込め詐欺防止」をはじめ、「空き家対策」にも取り組む予定です。
- 「振り込め詐欺防止」については、新たに、辻堂駅西口海岸側でのキャンペーンを企画し、より多くの住民の方々に注意喚起したいと考えています。

【モデル事業に参加して】

松浪地区がモデル事業に参加することを、市民安全部会で検討しました。市民安全部会で取り組む事業について、県、市役所、警察署の方々と、安全・安心の話合いの中で、防犯に関する補助金が活用できることがわかりました。

これからもいろいろとアドバイスをもらい、松浪地区の安全・安心まちづくりに積極的に取り組み、補助金の活用ができる事業をしていきます。

松浪地区まちぢから協議会市民安全部会

松浪地区自治会
自治会：14

社会福祉協議会

学校・PTA
小学校：3
中学校：2

地域支援センター

茅ヶ崎警察署

青少年育成推進協議会
3小学校区

茅ヶ崎市役所



(イメージ)

広域的な活動 多機関連携

緑園都市コミュニティ協会（RCA）（横浜市泉区）

アメリカの住民自治の取組みであるHOA（ホーム・オーナーズ・アソシエーション）を参考に、緑園都市住宅地を一つの共有財産と捉え、地域住民、店舗、大学等が会員となった住民主体のまちづくりを進めるための組織です。

【平成 27 年度の取組み】

県の担当者と、より効果的な対策について検討した結果、青パト車に拡声器を設置し、広報活動を兼ねたパトロールを行うことにしました。

【平成 28 年度の取組み】

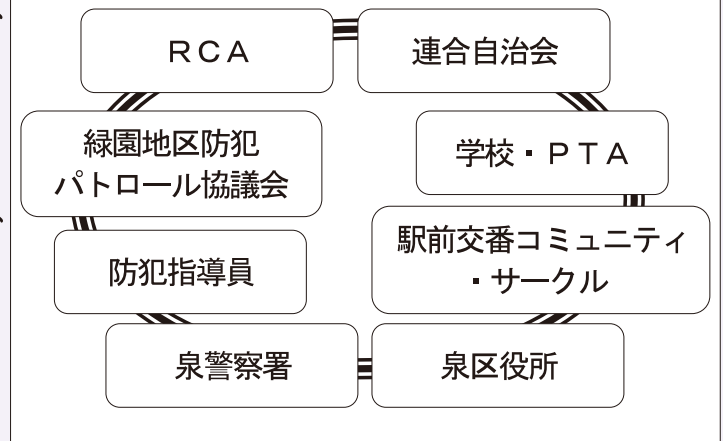
地区内にある大学との連携を強化し、学生を交えた取組みを強化するなど、防犯活動に携わる人の裾野拡大に努めていきたいと考えています。

【モデル事業に参加して】

県の協力で、懸案であった街の中心となる緑園都市駅に防犯カメラの設置が実現できたり、青パト車両に搭載する拡声器の補助や、防犯研修会で講演いただくなど、ハード面からソフト面まで広範囲に渡り気軽に相談・アドバイスや支援を受けることができ、心強い味方となっただけです。

今後、県の補助金を活用して得た貴重な機材や備品を十分に活用し、地域の住民のために積極的に充実した活動を展開し、県の期待に沿えるよう頑張っただけです。

緑園都市地域の安全・安心まちづくりへの 主な参画機関・団体



民間主導の防犯カメラ設置

港北区防犯カメラ設置合同委員会（横浜市港北区）

横浜市港北区内で、事業所が中心となって結成した「港北安全・安心コミュニティ創生会議」を母体に、防犯カメラの普及啓発、設置補助などを行う団体として設立されました。

【平成 27 年度の取組み】

- ・ 県警本部や警察署、区役所、県などの支援を受け、念願であった推進組織の立上げを行うことができました。
- ・ 委員会の活動の趣旨にご賛同いただいた方からの寄付を集め、今年度中に合同委員会による第1号の防犯カメラを設置できるよう、関係団体と調整中です。

【平成 28 年度の取組み】

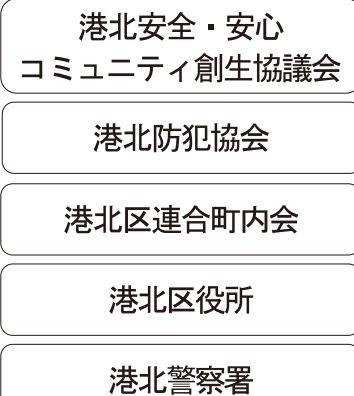
合同委員会の支援により、港北区内により多くの防犯カメラが設置できるよう設置促進の取組みをスピードアップしていきたいと考えています。

【モデル事業に参加して】

民間主導で防犯カメラ設置促進を進めるには、行政からのアドバイスも必要であり、防犯カメラに関する様々なノウハウを持っている県による支援は、ありがたく感じています。

まず、5年後の東京五輪に向けて、防犯カメラの抑止力でまちの安全・安心を高めていきたいと考えています。

港北区防犯カメラ設置 合同委員会



防犯カメラ設置促進

港北区内
自治会
町内会等